

■ 本事業の整備方針について

（Ⅰ）新給食室棟の増築

2階建（1階RC造、2階木造）の新給食室棟を既存給食棟跡地に建築する。
また、既存北校舎とは別棟増築となるように1層の渡り廊下（給食室棟庇）で接続する計画とする。

（Ⅱ）既存校舎棟の是正改修

北校舎、本館、翔鸞学童保育所について、法令の是正改修（不適合と判断されたもののみ）を実施する。

（Ⅲ）既存校舎棟の改修

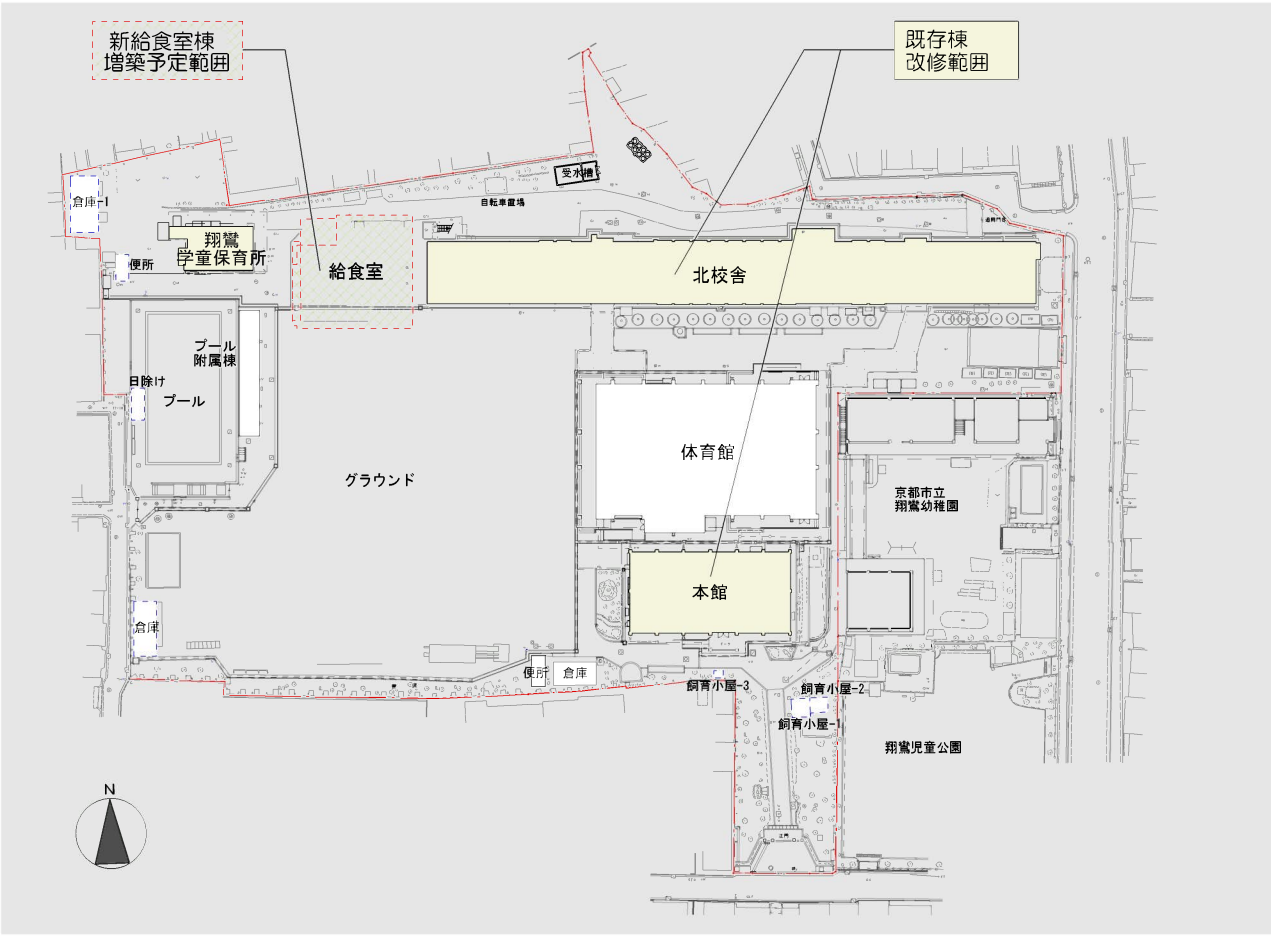
主に北校舎について、改修を実施する。エレベーター増築は北校舎内部に設置する。

（Ⅳ）敷地内建築物の整理

敷地内にある全ての建築物（倉庫及び塀等を含む。）について、現行法令への適合性について、整理したうえで、学校及び地元からの要望改修を実施する。

■ 将来対応の増築（既存校舎と繋ぐ渡り廊下等）について

将来、車椅子使用者等が新給食室棟の2階へ、既存校舎から行き来することの想定をする。



消防に関する取扱い

→給食室棟が主要構造部準耐火構造の準耐火建築物のため、既存校舎を含めた建物全体の消防法上の取り扱いが「準耐火構造」となる。避難器具は耐火構造である場合、2階は除かれ3階から義務設置だったが、準耐火構造となれば2階から義務設置になる。必要消防設備については、特に変更は無い（消防有窓・無窓の再確認必要）

建築基準法第27条について

→建設省住防発第14号昭和26年3月6日「部分により構造を異にする建築物の棟の解釈について」にて、新給食室棟が耐火建築物とならないように、北校舎と別棟と扱う構造を異にする建築物に適合するように計画する必要がある。

■ 仕上表

外部仕上表

給食棟	勾配屋根		金属板横葺（フッ素ガルバリウム鋼板）（ポリエチレンフォーム厚4 裏貼） 構造用合板厚12の上アスファルトルーフィング940下葺材、押出発泡ポリスチレン厚25（合成耐火認定30分耐火）
	陸屋根		外断熱仕様（アスファルト防水 + 押出法ポリスチレンフォームt50 + 保護コンクリートt80） パラペット立上り
	渡り廊下屋根		金属板横葺（フッ素ガルバリウム鋼板）（ポリエチレンフォーム厚4 裏貼） 野地板 硬質木片セメント板t18、ゴムアスルーフィングt1.0 鉄骨部：DP塗
	外壁	木造部	サイディング t15以上（塗装用）の上、ジョリバット塗（メーカー指定弾性塗料） （木下地、GW24Kt75充填） 防水紙、通気胴縁15 （45分準耐火）
		RC部	複層塗材RE（外気に接する外壁の室内側は現場発泡ウレタンフォーム厚30吹付とする）
	開口部		アルミサッシ + 複層ガラス（強化ガラス + 空気層 + Low-E合わせガラス）
	軒樋		カラー硬質塩化ビニル製 W130前高
	縦樋		カラーVPφ100 掴み金物：SUS製（グランド側 養生管：鋼製150巾垂鉛メッキH＝2.0m 3ヶ所）

給食棟	軒 裏	けい酸カルシウム板厚6.0底目地張りの上外装薄塗材E
	屋外階段	コンクリート直押えの上、モルタル金こて押え （2階踊り場：MO下地、塗膜防水の上、防滑性ビニル床シートFS<2.5>（屋外用）） 段鼻：ステンレス製ノンスリップ（ゴム入）

内部仕上表

室 名			床	巾 木	腰 壁	壁	天 井	廻り縁	天井高	備 考
学校給食施設	サービスホール	仕 上	厨房用ビニル床シートt2.5	床シート巻上げ H=200	FK+EP-G	同左	FK+EP-G（防カビ）	アルミ製	2,500	手洗い、モップ洗い、グレーチング
		下 地	軽量コン<300>	—	ULスタッド+ GBS	同左	LGS（一般天井）			
	調理（火気使用）・洗浄・下処理等ホール・検収室	仕 上	水性硬質ウレタン塗床t6.0	塗上	FK(D)	同左	FK+EP-G（防カビ）	アルミ製	2,500	排水ビット、グレーチング、厨房機器（別途）
		下 地	軽量コン<300>	—	ULスタッド+ GBS	同左	LGS（一般天井）			
	食品庫	仕 上	厨房用ビニル床シートt2.5	床シート巻上げ H=200	FK(D)	同左	FK+EP-G（防カビ）	アルミ製	2,500	
		下 地	軽量コン<300>	—	ULスタッド+ GBS	同左	LGS（一般天井）			
	前室・通路	仕 上	水性硬質ウレタン塗床t6.0	塗上	FK(D)	同左	FK+EP-G（防カビ）	アルミ製	2,500	
		下 地	軽量コン<300>		LGS+ GBS	同左	LGS（一般天井）			
	更衣・休憩等	仕 上	ビニル床シートt2.5	ビニル巾木 H=75	ビニルクロス	同左	化粧石膏ボード	アルミ製	2,300	ユニットシャワー、カーテン、カーテンレール
		下 地	軽量コン<300>	—	LGS+ GBS	同左	LGS（一般天井）			
	便所 トイレ前室	仕 上	抗菌性ビニル床シート<2.0>	ビニル巾木 H=60	FK(D)	同左	FK+EP-G（防カビ）	アルミ製	2,300	
		下 地	軽量コン<300>	—	LGS+ GBS	同左	LGS（一般天井）			
	階段下倉庫	仕 上	ビニル床シートt2.5	—	コンクリート下地補修	同左	RC型枠外しそのまま	—	—	
		下 地	MO	—	—	同左	—			
	学童出入口	仕 上	塗膜防水の上、防滑性ビニル床シートFS<2.5>（屋外用）	床シート巻上げ H=100	木部外壁と同じ	同左	FK+EP-G（防カビ）	塩ビ	2,500	下足箱（4列x5段）3台
		下 地	MO	—	—	同左	LGS（一般天井）			
多目的室・その他	多目的室	仕 上	複合フローリング t15（UV塗装品）	木製 H=100 OSCL	みやこ桧木杉小巾板t12 OSCL	ビニルクロス	無機高分子系仕上塗材吹付木部OSCL	木製		掲示板、間仕切（カーテンH=3.0m）、カーテン、カーテンレール
		下 地	MO	—	木軸+GB-R厚12.5+9.5（準耐火）	同左	木軸+GBF t12.5（GW24Kt75充填）			
	収納・倉庫	仕 上	ビニル床シートt2.5	雑巾摺り	水屋：シナ合板<4.0>	同左	水屋：シナ合板<4.0>	木製	2,300	
		下 地	MO	—	木軸+GB-R厚12.5+9.5（準耐火）	同左	木軸			
	通 路	仕 上	ビニル床シートt2.5	木製 H=100 OSCL	みやこ桧木杉小巾板t12 OSCL	ビニルクロス	ビニルクロス	木製	2,500	手洗い（ステンレス製）、掲示板
		下 地	MO	—	木軸+GB-R厚12.5+9.5（準耐火）	同左	木軸+GBF t12.5			
	男子便所 女子便所	仕 上	抗菌性ビニル床シートt2.0	ビニル巾木 H=75	FK(D)	同左	FK+EP-G（防カビ）	塩ビ	2,500	手洗い、補助手摺、鏡、トイレブース、モップ掛け、木製棚
		下 地	MO	—	木軸+GB-R厚12.5+9.5（準耐火）	同左	LGS（一般天井）			
	多目的室出入口・階段	仕 上	ビニル床シートt2.5	ビニル巾木 H=75	みやこ桧木杉小巾板t12 OSCL	ビニルクロス	ビニルクロス	木製	—	両側手摺
		下 地	MO	—	木軸+GB-R厚12.5+9.5（準耐火）	同左	木軸+GBF t12.5			
略 語			MO ：モルタル GBR ：石膏ボード GBRH：硬質石膏ボード GBF ：強化石膏ボード	GBS ：シーリング石膏ボード FK ：けい酸カルシウム板 FK(D)：化粧けい酸カルシウム板（抗菌仕様）	塗装記号	EP-G：つや有り合成樹脂エマルションペイント OSCL：油性ステインクリヤーラッカー			特記事項 ・防火上主要な間仕切壁は小屋裏又は、天井裏に達せしめること。 ・使用する建築材料はすべて、法第28条の2に適合させること。 ・外壁面は原則、現場発泡ウレタンフォーム厚30吹付とする。	

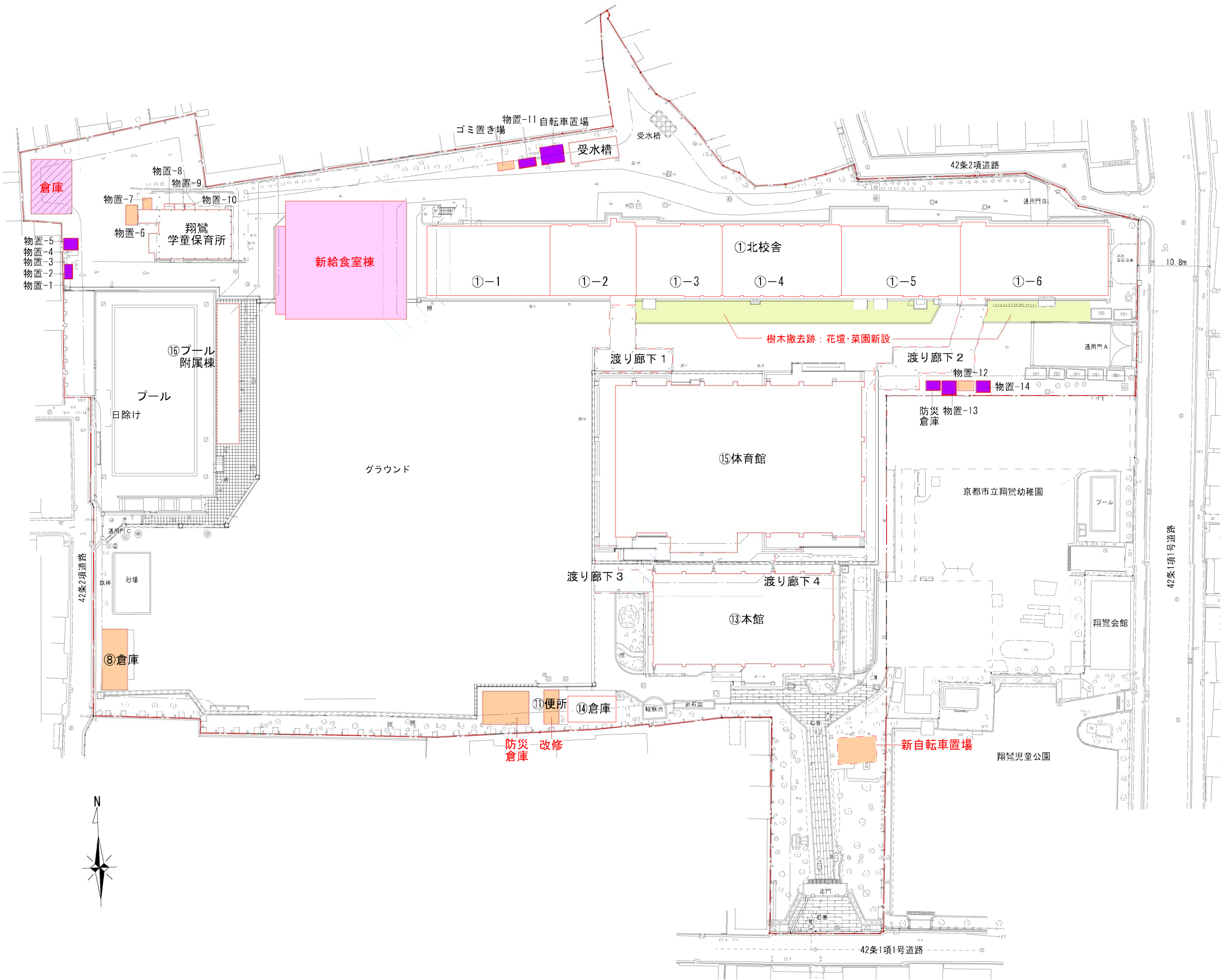


※2項後退及び敷地境界塀に係る改修は教育委員会にて実施

公共建築部：★
教育環境整備室：◎

■ 配置図 改修案

S = 1 : 600



凡 例		区分
	既存建築物（破線は屋根・上屋を示す）	—
	増築建築物 新給食室棟	★
	増築建築物 倉庫棟	★
	新設 自転車置場・便所・鋼製物置等（破線は屋根・上屋を示す） （⑪便所は屋根及び内部改修）	★◎
	再利用・再設置 鋼製物置JIS規格品、基礎新設及び繋結	◎
	防火中心線を示す	
	延焼の恐れのある部分（3m）を示す	
	延焼の恐れのある部分（5m）を示す	

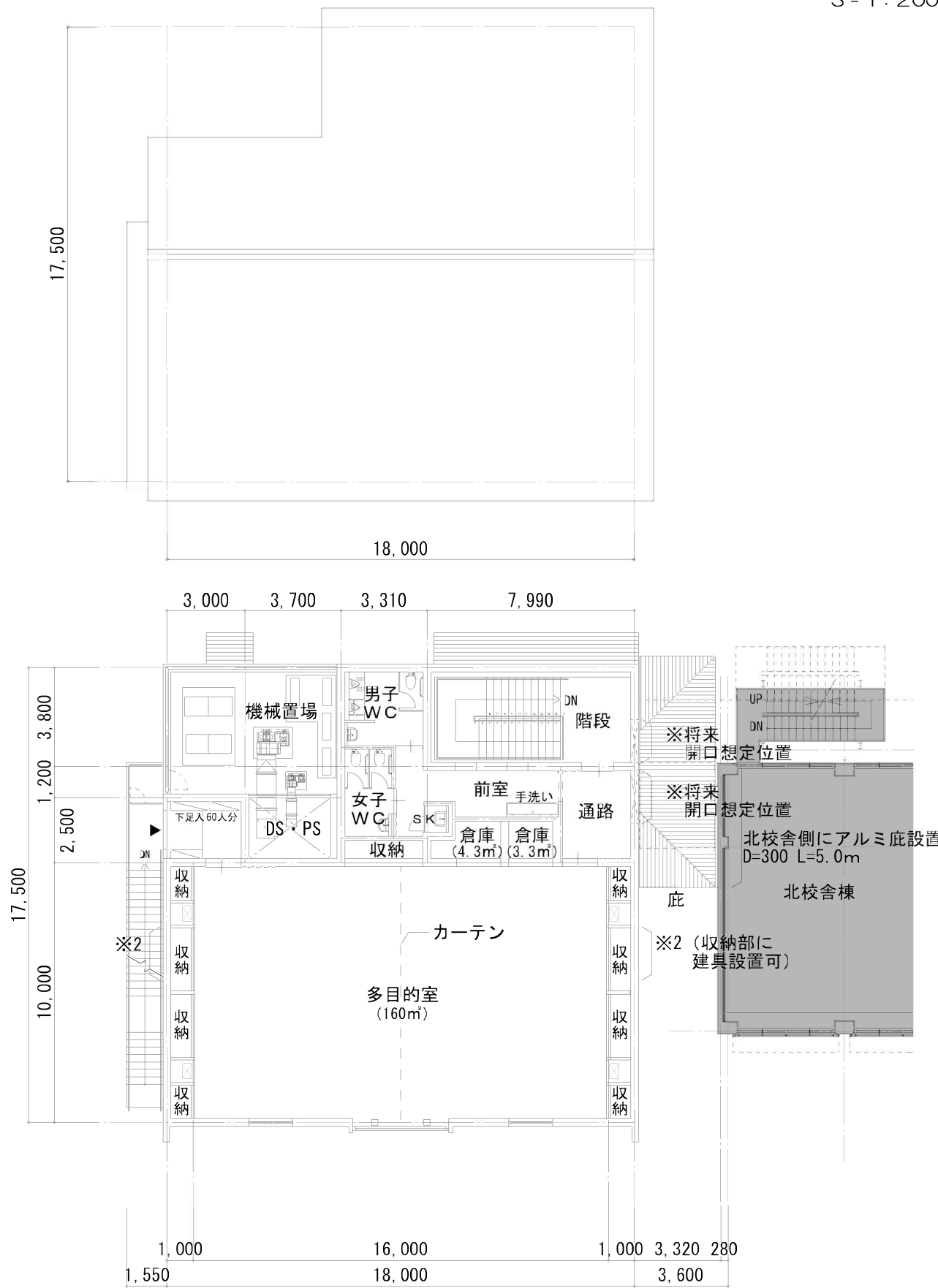
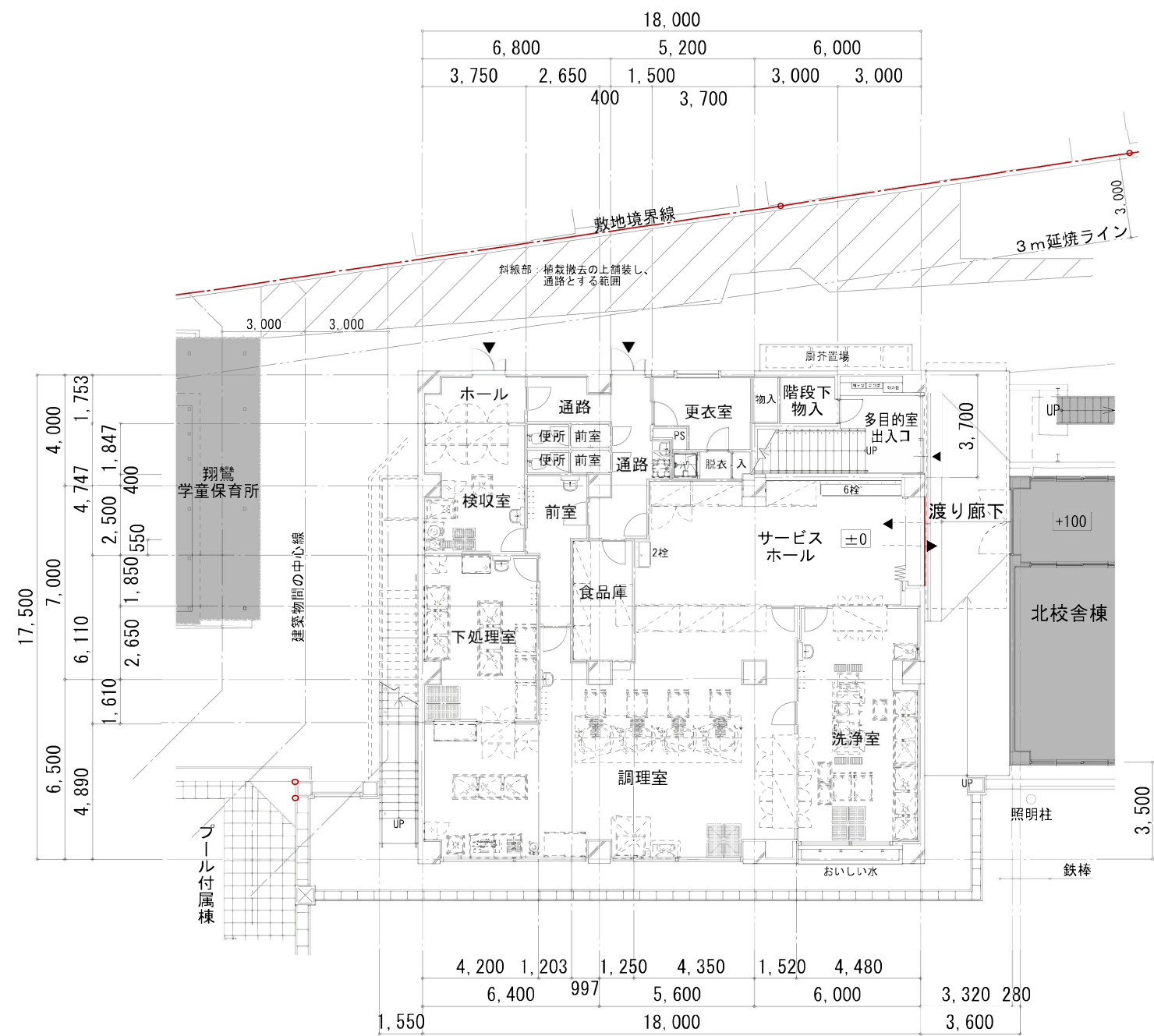
移設リスト			区分
名 称	構造・規模等	備 考	—
物置-11	S造平屋建 W2,630×D1,370×H2,070	鋼製物置JIS規格品、基礎新設・繋結	◎
物置-14	S造平屋建 W2,170×D1,800×H2,340	鋼製物置JIS規格品、基礎新設・繋結	◎
自転車置場	S造平屋建 W2,800×D2,000×H2,150	既製品、基礎共	◎
移設建築物の配置は協議の上決定すること。ただし、鋼製物置については基本・実施設計時に扉の材厚等を確認し、防火設備と認められない場合は既存棟に延焼の恐れのある範囲を生じさせない配置とすること。			

新設リスト			区分
名 称	構造・規模等	備 考	—
物置-6	S造平屋建 W2,090×D1,880	鋼製物置JIS規格品、基礎新設・繋結	◎
物置-7	S造平屋建 W1,800×D1,370	鋼製物置JIS規格品、基礎新設・繋結	◎
物置-12	S造平屋建 W2,550×D1,500	鋼製物置JIS規格品、基礎新設・繋結	◎
⑪便所	CB造平屋建 W5,100×D2,200×H3,350	改 修（軒裏防火改修を除く）	★
防災倉庫（南側）	S造平屋建 W7,000×D5,000(35㎡)	鋼製物置JIS規格品、基礎新設・繋結	★
新自転車置場	アルミ合金造平屋建 W5,776×D3,940	既製品、主要構造部は不燃材料	★
ゴミ置き場	S造平屋建 W2,400×D1,170	既製品、主要構造部は不燃材料	★
⑧倉庫	S造平屋建 W9,000×D3,750	道路後退により撤去が必要な場合	★
花壇・菜園新設	真砂土H400程度、 周囲化粧2'000t100 H=400程度		★
・新設鋼製物置はJIS規格品とする。開口部は防火設備とする。 ・新設建築物の配置や規模等は協議の上決定すること。ただし、既存棟に延焼恐れのある部分を生じさせない配置を原則とすること。 ・建築基準法上別棟とする様同士は250以上離隔距離を確保すること。			

【工事区分 凡例】
公共建築部 : ★
教育環境整備室 : ◎

■新給食室棟 平面計画案

S = 1 : 200



■新給食室棟 平面計画案
〈給食室計画案〉



第9章 施設整備計画書

■新給食室棟 平面計画案

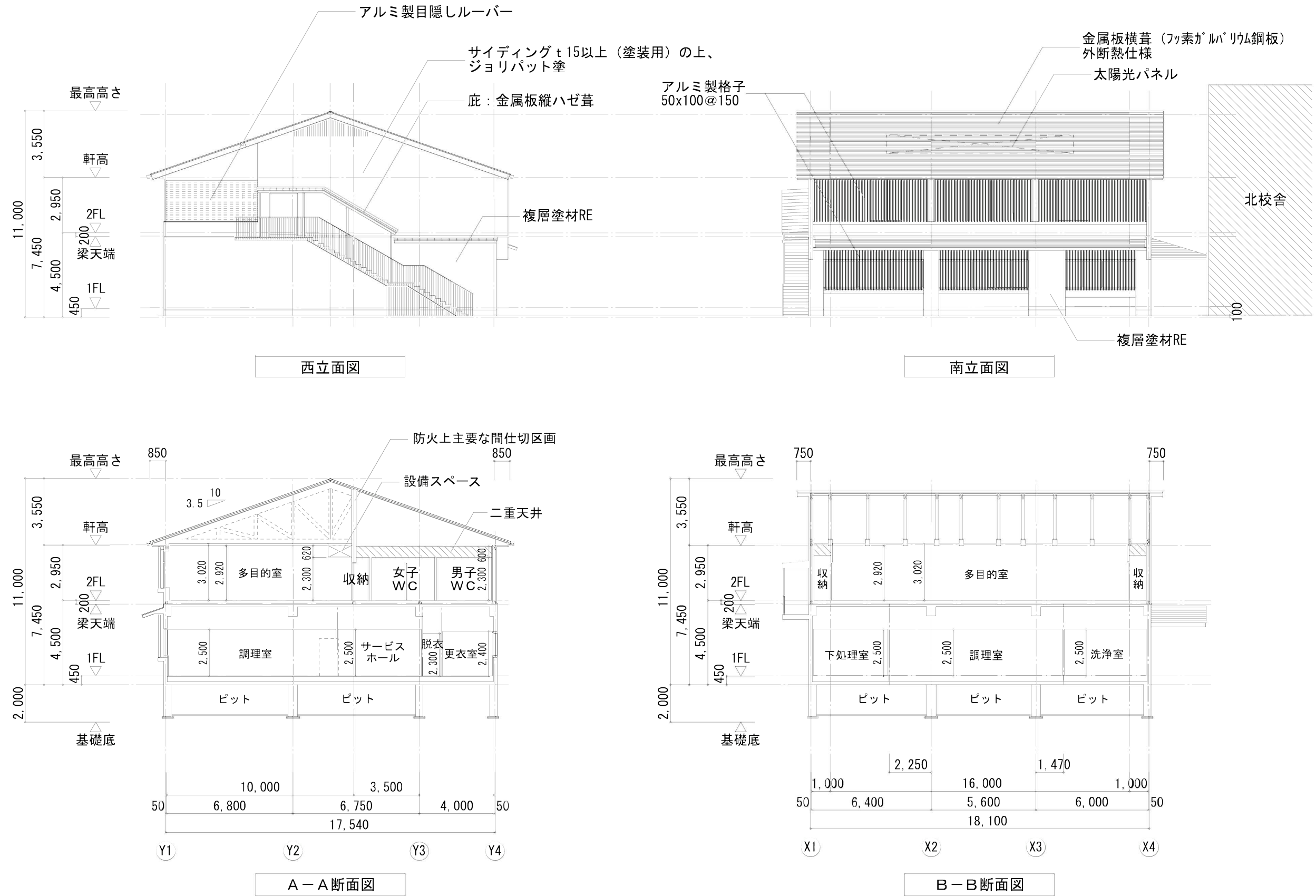
〈給食室 機器リスト〉

No.	品名	MODEL	台数	寸法 (mm)			配管接続口径 (A)			ガス (kW)	電 気 (kW)			フ ィ ド	備 考
				間	口	奥行	高さ	給 水	給 湯	排 水	口径 (A)	消費量	1φ 100V		
1	洗濯乾燥機		1	600	600	()	15A対応		40			()			【別添品】
2	バススルー冷蔵庫	GPD-150RVD1-G	1	1490	840	1950			40					0.78	ステンレス扉仕様
3	バススルー冷凍庫	GPD-150RMD1-G (改)	1	1490	840	1950			40					0.77	ステンレス扉仕様
4	球根受用L型運搬車		1	1050	700	600									ドライ仕様
5	球根皮剥機	P-48D	1	1040	690	530 959	15 ホース		ビッド					0.40	
6	保存食用冷凍庫	FT-63PTE1	2	630	450	800			40x2		0.13x2				73L
7	エプロンドライヤー	【建築工事】	1	600	233	150									3本
8	移動式一槽水槽	(検収用)	1	750	780	800			バルブ止め						
9	台下戸棚		1	(1000)	600	550			40						上部シャッター 【建築工事】
10	乾燥機付き包丁まな板殺菌庫	TMS-6050SF	1	600	500	1200					0.29				包丁20本 まな板5枚
11	移動式調理台	京都市仕様	1	1200	750	800									ドライ仕様
12	三槽シンク	京都市仕様	1	2700	900	850	15x3	15x3	50x3						ドライ仕様 下処理用
13	三槽シンク	京都市仕様	1	2700	900	850	15x3	15x3	50x3						ドライ仕様 器具洗浄用
14	ザル運搬車 (大)	京都市仕様	2	900	750	600									ドライ仕様
15	台下戸棚		1	(1500)	600	550			40						上部シャッター 【建築工事】
16	バススルー冷蔵庫	GPD-120RM1-G	1	1200	840	1950			40		0.51				ステンレス扉仕様
17	乾燥機付き包丁まな板殺菌庫	TMS-85HF2	1	850	600	1800					0.33				包丁20本 まな板16枚 しゃもじ20本
18	移動式調理台	京都市仕様	1	1500	900	800									ドライ仕様
19	三槽シンク	京都市仕様	1	2700	900	850	15x3	15x3	50x3						ドライ仕様 調理用
20	攪拌機	MX-26	1	370	506	983					0.2				
21	移動式一槽水槽	(野菜裁断機用)	1	680	650	700			バルブ止め						
22	移動式スライサー置き台		1	1900	900	600	15 ホース		バルブ止め						
23	フードスライサー	FS-36	1	440	1041	1220	15 ホース				0.6				
24	ガススーパースチーム	SSCG-10SCNU-K	1	1030	750	1100	15 G.Vx2		50 耐熱管	20	37.2	0.38			GF 1/1ホテルバン10段
25	スーパースチーム専用架台		1	970	670	450									
26	ガス回転釜	ドライ30型・京都市仕様	4	1336	1041	830	15x4		ビッドx4	20x4	38.7x4				GF 110リットル
27	ザル運搬車 (大)	京都市仕様	4	900	750	600									ドライ仕様
28	家庭用ガスコンロ	RT64-2H6S	1	596	448	180				ホース 9.5φ	6.42				GF
29	コンロ台		1	900	500	650									
30	電気式食器消毒保管庫 (両面式)		1	1420	950	1850								7.4	
31	食器消毒保管庫	京都市仕様 (B8型)	1	1930	950	1850								9.4	
32	副食棚		3	1540	1000	1800									6クラス対応 (両面)
33	エレファントシェルフ	N-TES-19-6112C	1	1209	610	1930									棚4段
34	エレファントシェルフ	N-TES-19-6115S	3	1515	610	1930									棚4段
35	一槽シンク		1	600	900	850	15	15	50						スプーン渍け置き洗い用
36	三槽シンク	京都市仕様	2	2700	900	850	15x6	15x6	50x6						ドライ仕様 洗浄用
37	ネットコンベア型食器洗浄機	TDWN-22KR	1	2200	1000	1300		25 G.V	50x3 耐熱管					9.45	【既存品】
38	移動脇台		3	750	500	650									ドライ仕様
39	ザル運搬車 (小)	京都市仕様	2	900	650	600									ドライ仕様
40	食器消毒保管庫	KTW-40	1	1930	950	1850								9.4	

[illegible]

■新給食室棟 立面・断面計画案

S = 1 : 200



■ 透視図



新給食室棟 南西側（外観イメージ）



新給食室棟 南東側（外観イメージ）

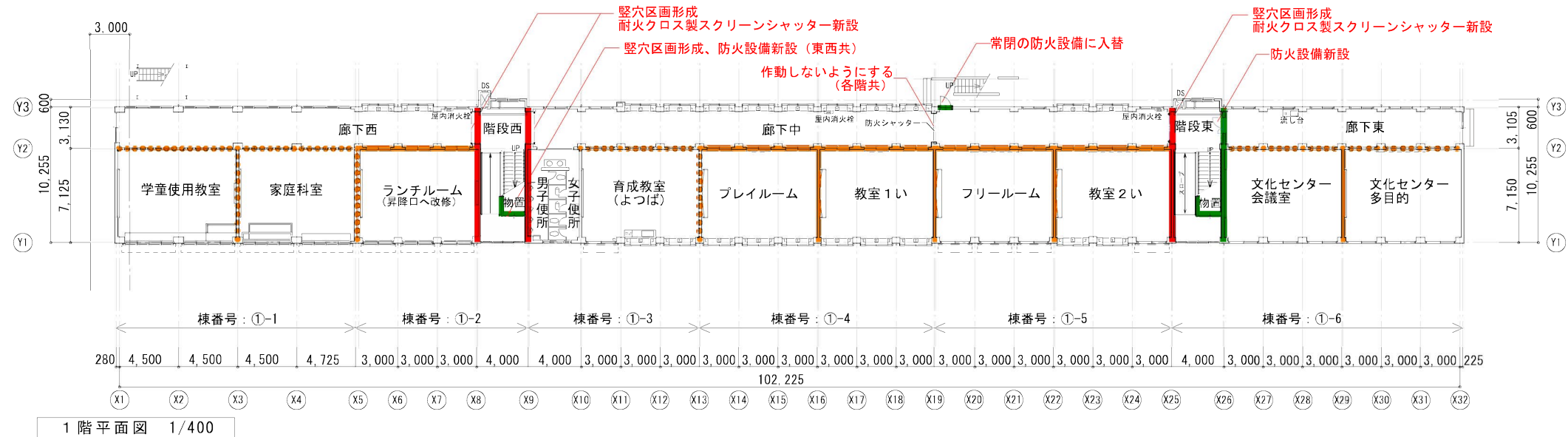
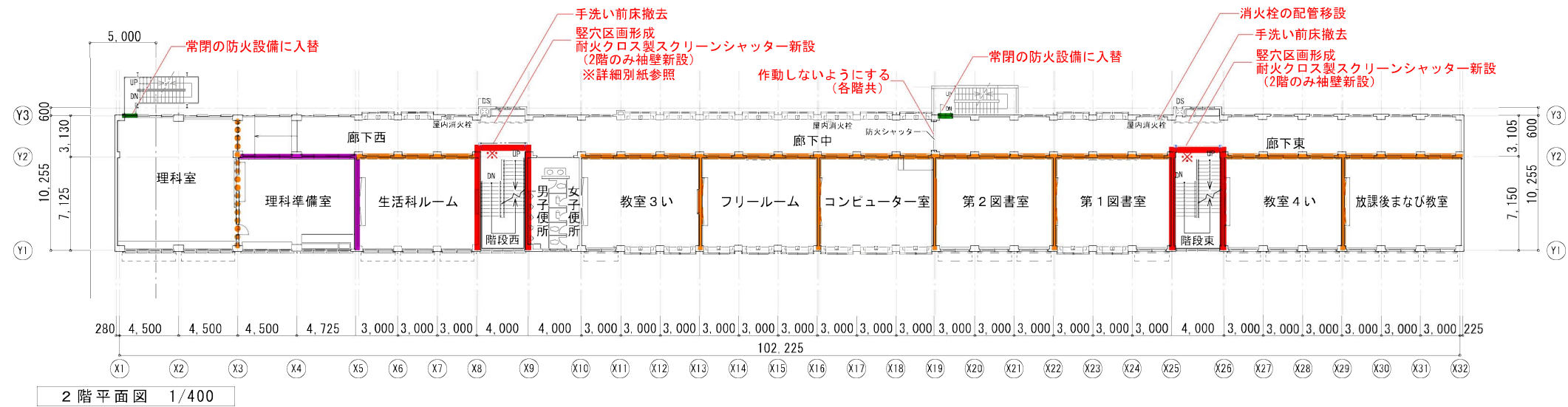
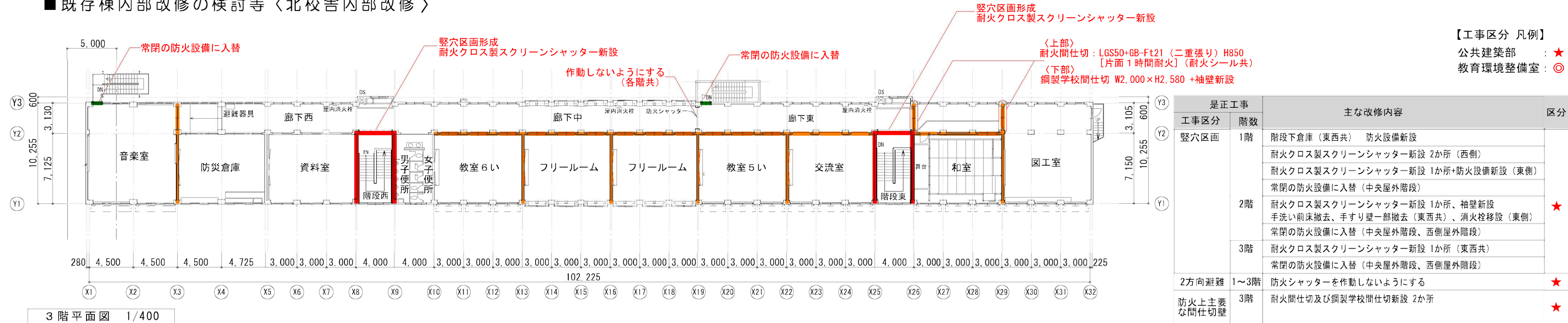


2階多目的室 北東側（内観イメージ）



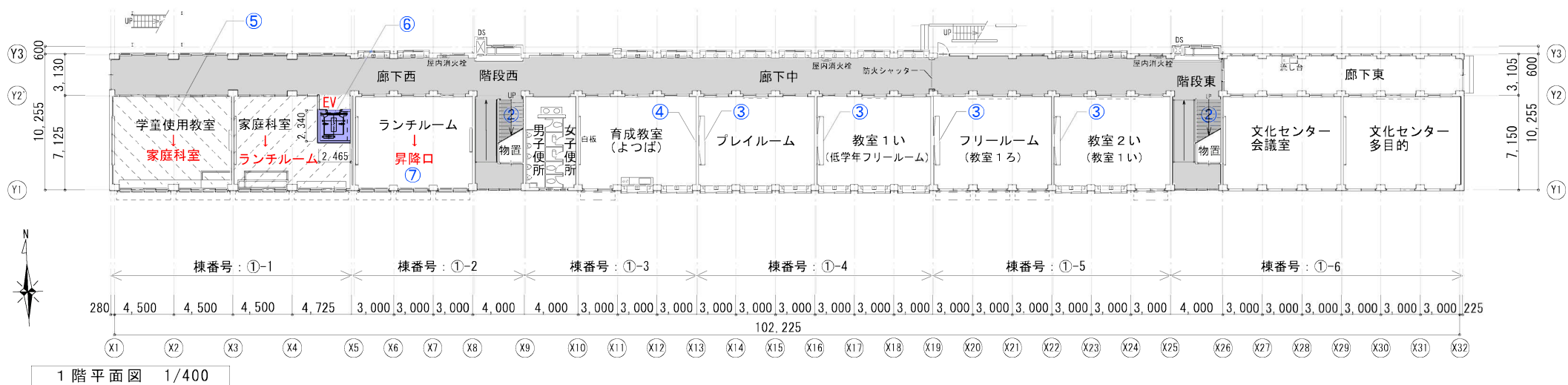
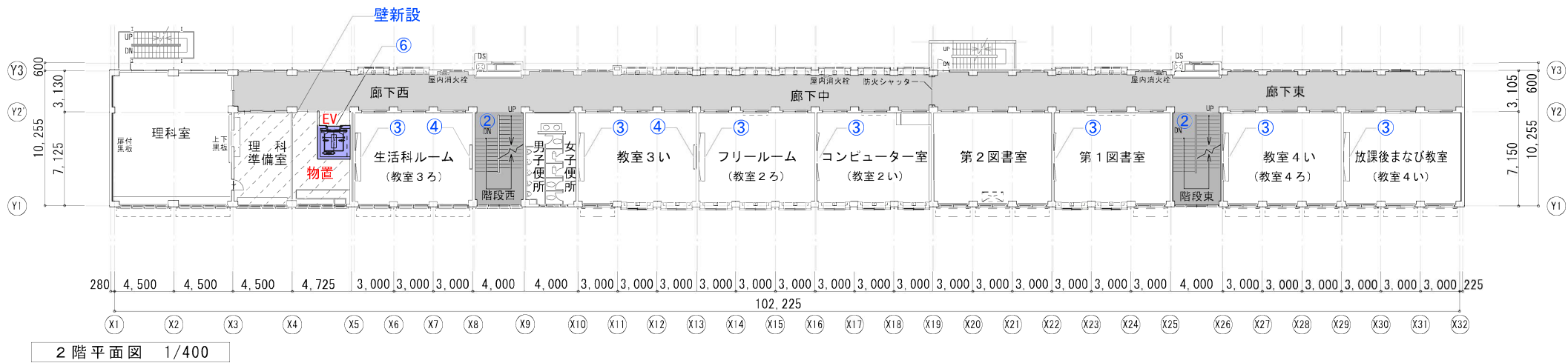
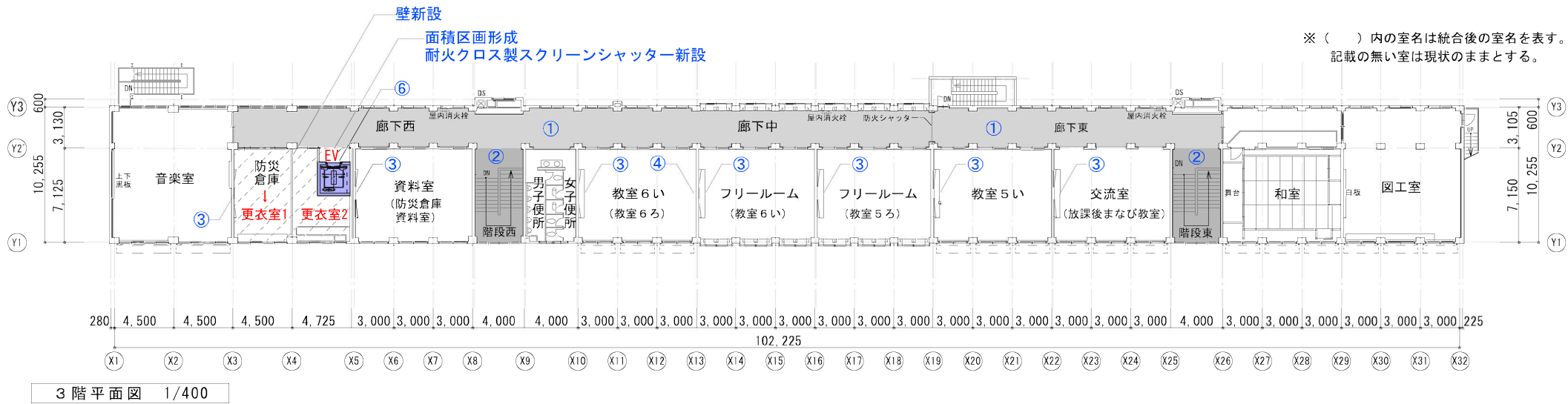
2階多目的室 南西側（内観イメージ）

■ 既存棟内部改修の検討等〈北校舎内部改修〉



凡 例	
赤	面積区画（令112条1項）を示す。
緑	堅穴区画（令112条11項）を示す。
橙	防火上主要間仕切区画（令114条）を示す。〈教室等間〉
紫	防火上主要間仕切区画（令114条）を示す。〈火気使用室-その他間〉
●●●橙	防火上主要間仕切区画（令114条）を示す。〈上記の両方に該当〉

■既存棟内部改修の検討等〈北校舎内部改修〉



【工事区分 凡例】

公共建築部 : ★
教育環境整備室 : ◎

【改修項目】

対象箇所		改修内容	区分
①	3階 廊下	床 長尺塩ビシートt2.5 撤去、新設	★
	2階 廊下	床 同上	
	1階 廊下・スロープ	床 同上	
②	1～3階 階段	床 長尺塩ビシートt2.5 撤去、新設 段鼻 ノンスリップ撤去、新設	★
③	各教室	壁 黒板をホワイトボードに張替え W3,650×H1,260	◎
④	1階 育成教室	壁 既存の黒板や掲示板撤去のうえ 掲示板新設 (教室後方を全面掲示板に取替)	◎
	2階 教室3い	壁 W6,700×H1,850	
	2階 生活科ルーム	壁	
⑤	1階 学童使用教室	全体 家庭科室仕様に改修	★
⑥	X3-X5通間	EV内部設置及びそれに伴う室変更	★
	各教室	X4-X5通間にエレベーター設置 1階: 家庭科室→ランチルーム 2階: 理科準備室→理科準備室、物置 3階: 防災倉庫→更衣室1、2	
⑦	ランチルーム	全体 昇降口改修 (別事業にて実施)	★

※①～④について: R6年度に先行して工事を実施する可能性有り
(ただし、①及び②は公共建築建設課にて、③及び④は教育委員会にて実施)

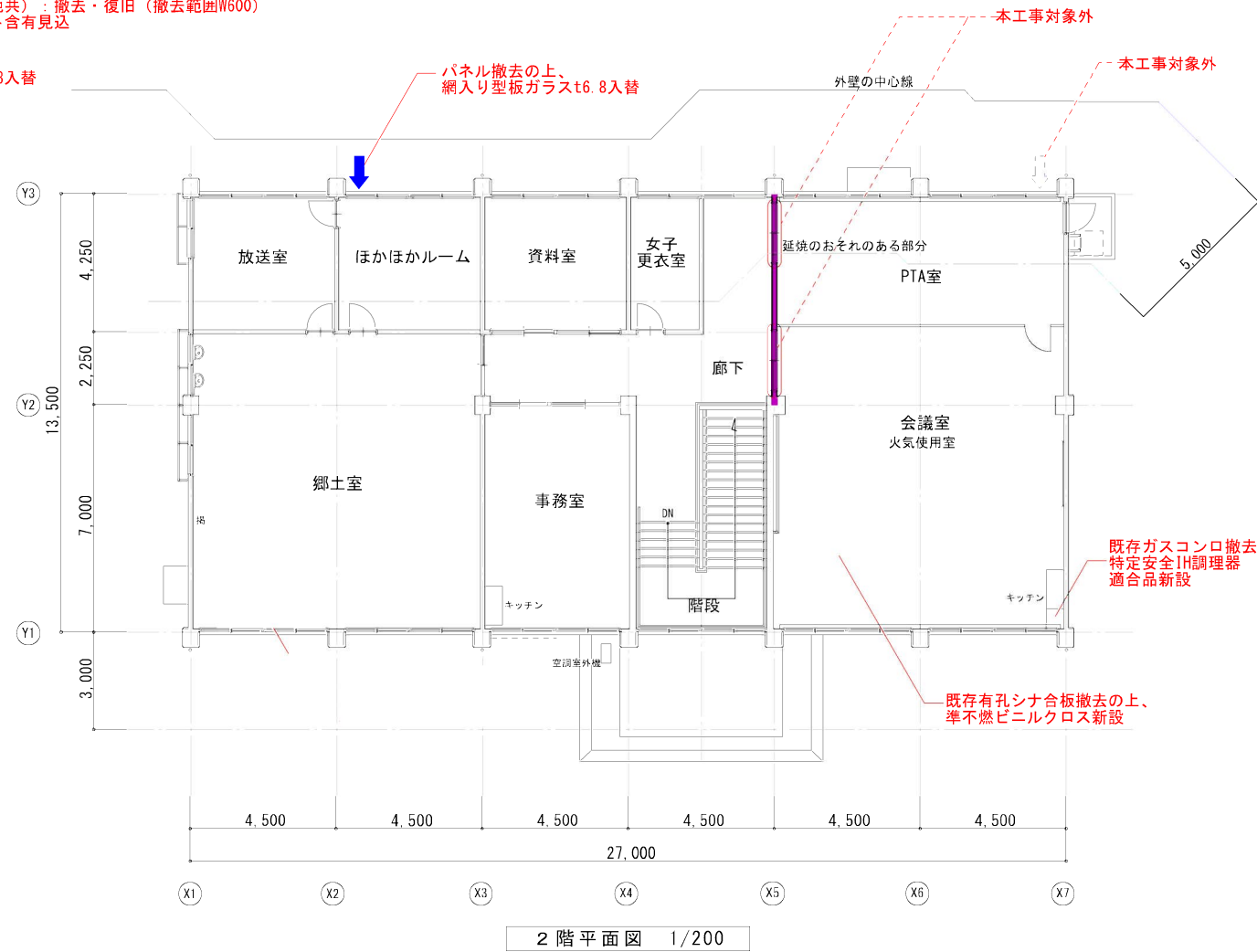
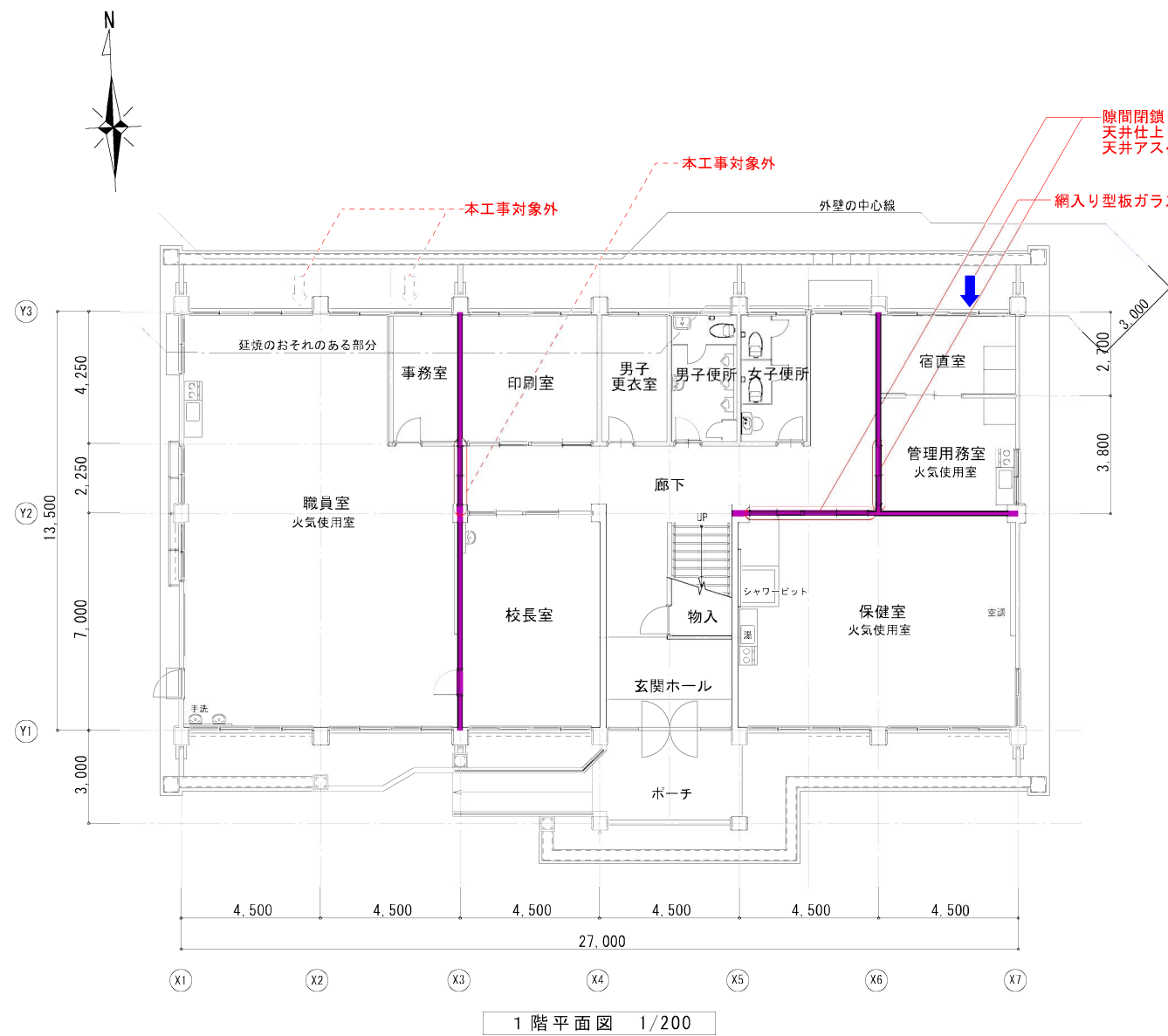
EV (11人乗り) 昇降路・ホール S造3階 (内部設置、停止階:3)

部 位	仕 上 げ	区分
構 造	新設 ・基礎 RC造 ・地中梁 RC造 250×1300 ・梁 H-300×150 耐火被覆 (1時間)	★
内部仕上	新設 ・EVビット コンクリート 浸透性防水 ・1階床 土間コンクリート モルタル ビニル床シート t=2.0 点字シート ・2階以上ホール床 下地調整材C-2 ビニル床シート t=2.0 点字シート ・ホール巾木 ビニル巾木 H=100 ・昇降路・ホール壁 ・1時間耐火遮音間仕切壁新設: LGS65 (GW充填・24K 厚50) +強化PB12.5+PB9.5 EP-G 新設 ・ホール天井 LGS下地 化粧PB t=9.5 ※昇降機の扉は防犯窓付 (防火設備・堅穴区画) とする。 3階扉前に耐火クロス製スクリーンシャッター新設 (面積区画) ・1～3階 EV壁周辺1m 既存フローリング撤去・新設 (教室内) ・学校間仕切撤去・新設 (W1500, H2575 出入口+ランマ)	

【仕上表】

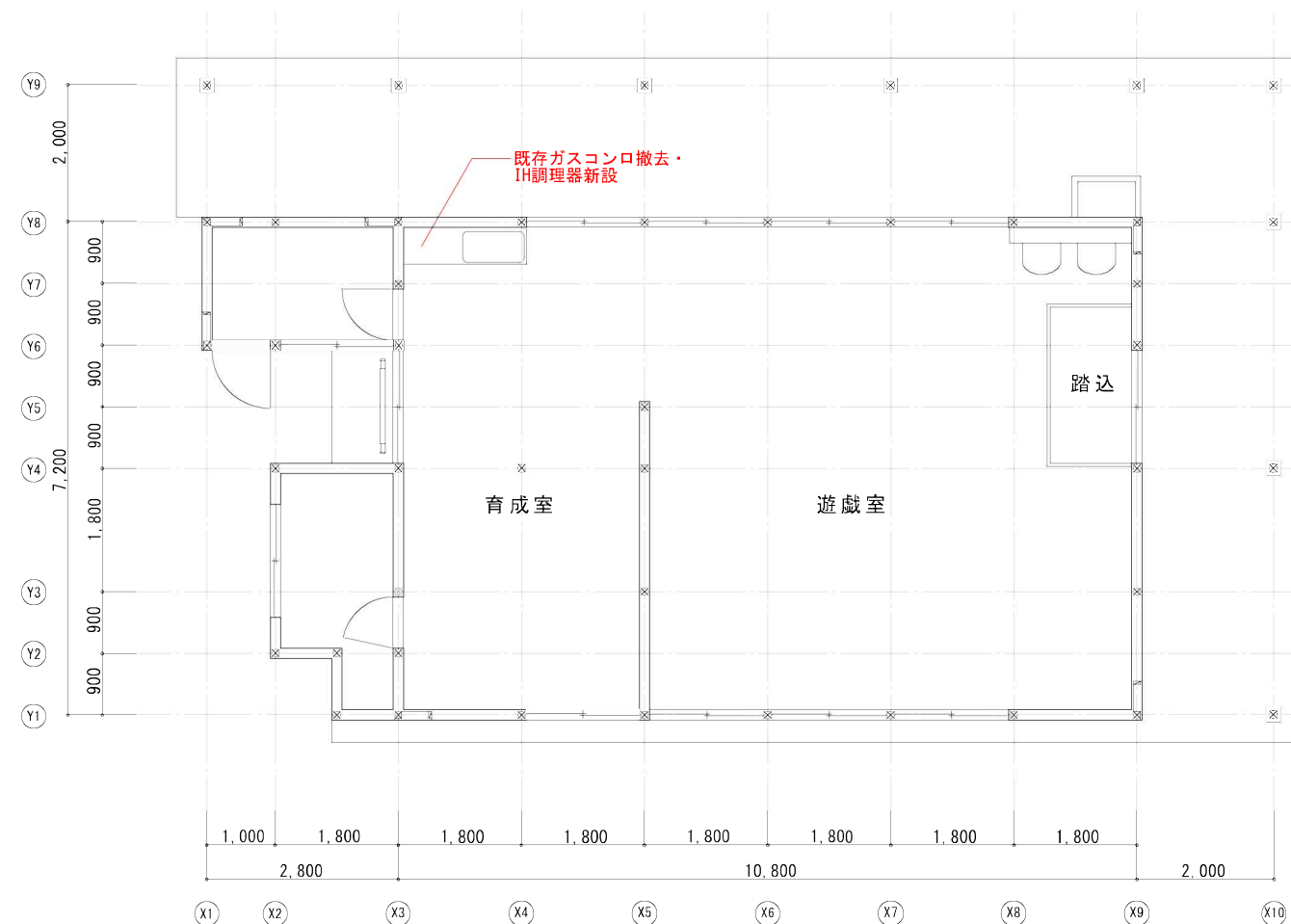
室 名	部位	現 況	改 修	備 考	区分: ★
学童使用教室 ↓	天井	防火吸音板	下地調整の上、EP-G塗	談理台・7台 新設	★
	壁	壁: M0下地、EP-G塗 腰壁: M0下地、ラテックスベイト塗 柱壁 (西・東)、木製羽目板 t12 既設のまま	腰壁・壁モルタル面: 下地調整の上、EP-G塗 床: 根太組の上、フローリング 下地共撤去	話し台 新設	
家庭科室 ↓	天井	防火吸音板	下地調整の上、EP-G塗	談理台・話し 作業台撤去	★
	壁	壁: M0下地、EP-G塗 腰壁: M0下地、ラテックスベイト塗 柱壁 (西・東)、木製羽目板 t12 既設のまま	腰壁・壁モルタル面: 下地調整の上、EP-G塗 床: 根太組の上、フローリング 下地共撤去		
家庭科室 ↓	天井	防火吸音板	下地調整の上、EP-G塗	談理台・話し 作業台撤去	★
	壁	壁: M0下地、EP-G塗 腰壁: M0下地、ラテックスベイト塗 柱壁 (西・東)、木製羽目板 t12 既設のまま	腰壁・壁モルタル面: 下地調整の上、EP-G塗 床: 根太組の上、フローリング 下地共撤去		
理科準備室 ↓	天井	防火吸音板	下地調整の上、EP-G塗	話し台撤去	★
	壁	壁: M0下地、EP-G塗 腰壁: M0下地、ラテックスベイト塗 柱壁 (西・東)、木製羽目板 t12 既設のまま	腰壁・壁モルタル面: 下地調整の上、EP-G塗 床: 根太組の上、フローリング 下地共撤去		
防災倉庫 ↓	天井	防火吸音板	下地調整の上、EP-G塗	話し台撤去	★
	壁	壁: M0下地、EP-G塗 腰壁: M0下地、ラテックスベイト塗 柱壁 (西・東)、木製羽目板 t12 既設のまま	腰壁・壁モルタル面: 下地調整の上、EP-G塗 床: 根太組の上、フローリング 下地共撤去		

■ 既存棟内部改修の検討等〈本館内部改修〉

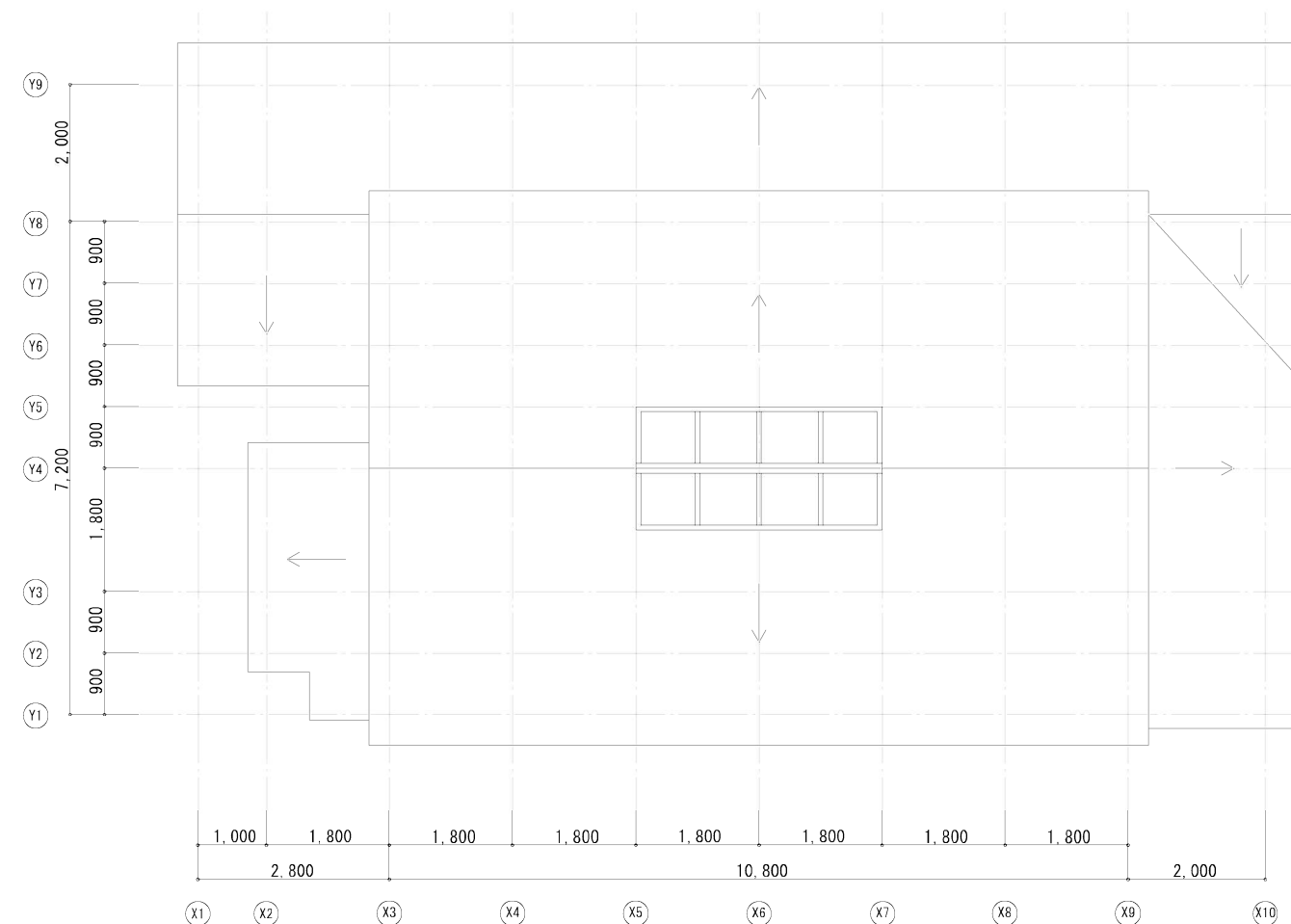


凡 例	
紫	防火上主要間仕切区画（令114条）を示す。〈火気使用室-その他間〉

■ 既存棟内部改修の検討等〈翔鸞学童保育所内部改修〉



1 階平面図 1/100



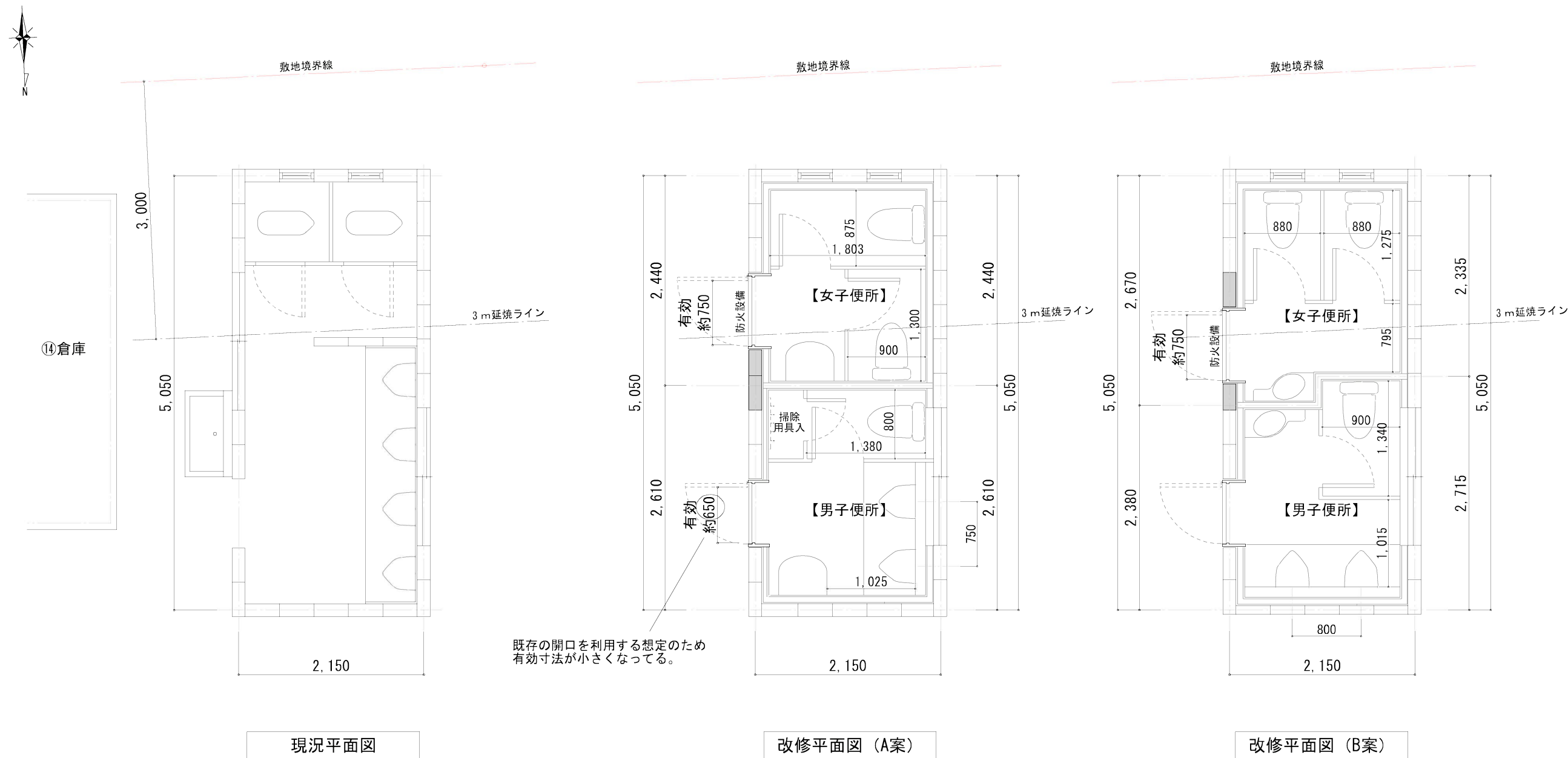
屋根伏図 1/100

主な改修内容		区分
1階	既存ガスコンロ撤去・IH調理器新設	★

【工事区分 凡例】

公共建築物 : ★
教育環境整備室 : ◎

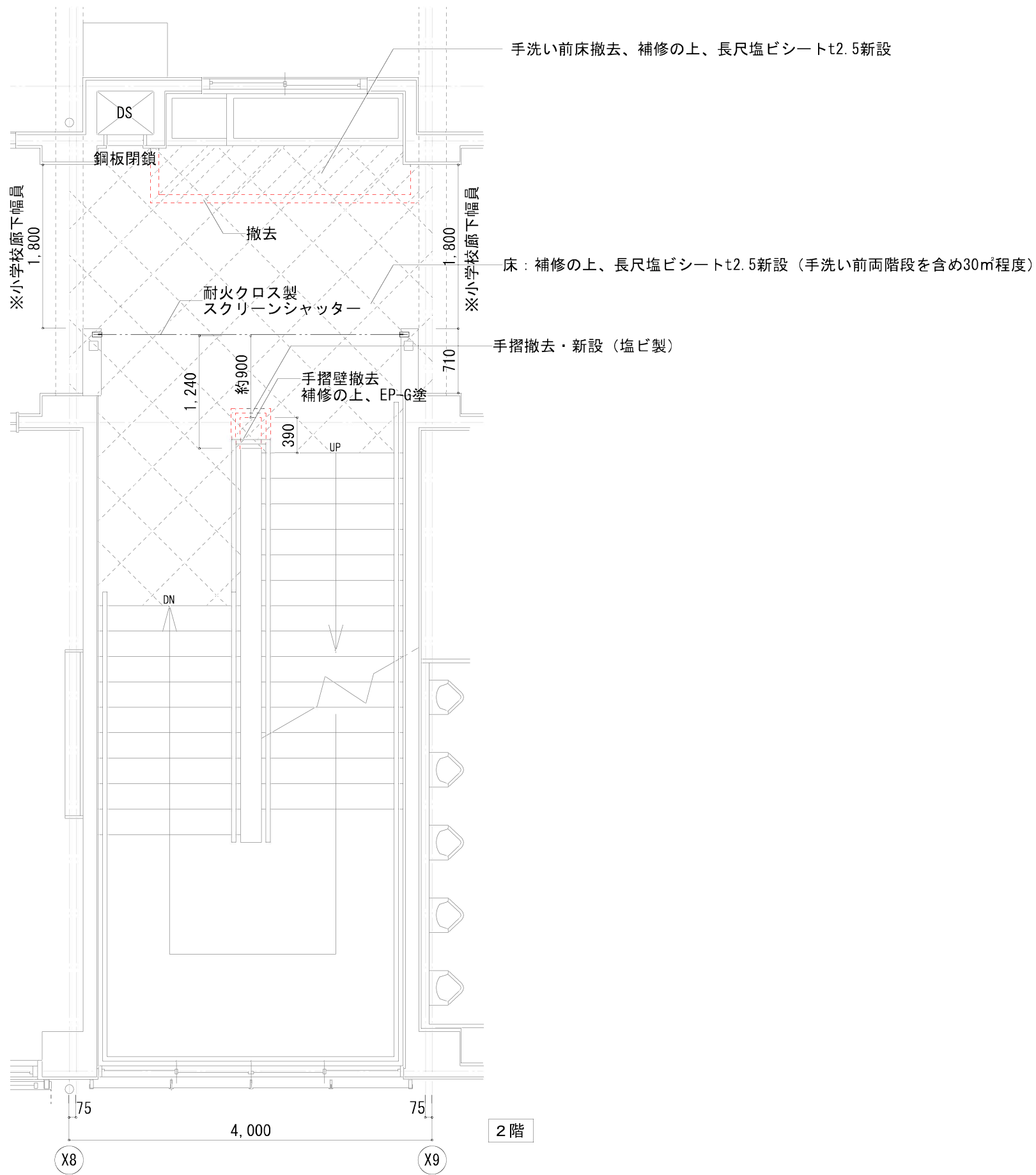
■ 既存棟内部改修の検討等
〈⑭ 便所改修案〉



※詳細設計時には、換気扇またはガラルの設置を検討すること。

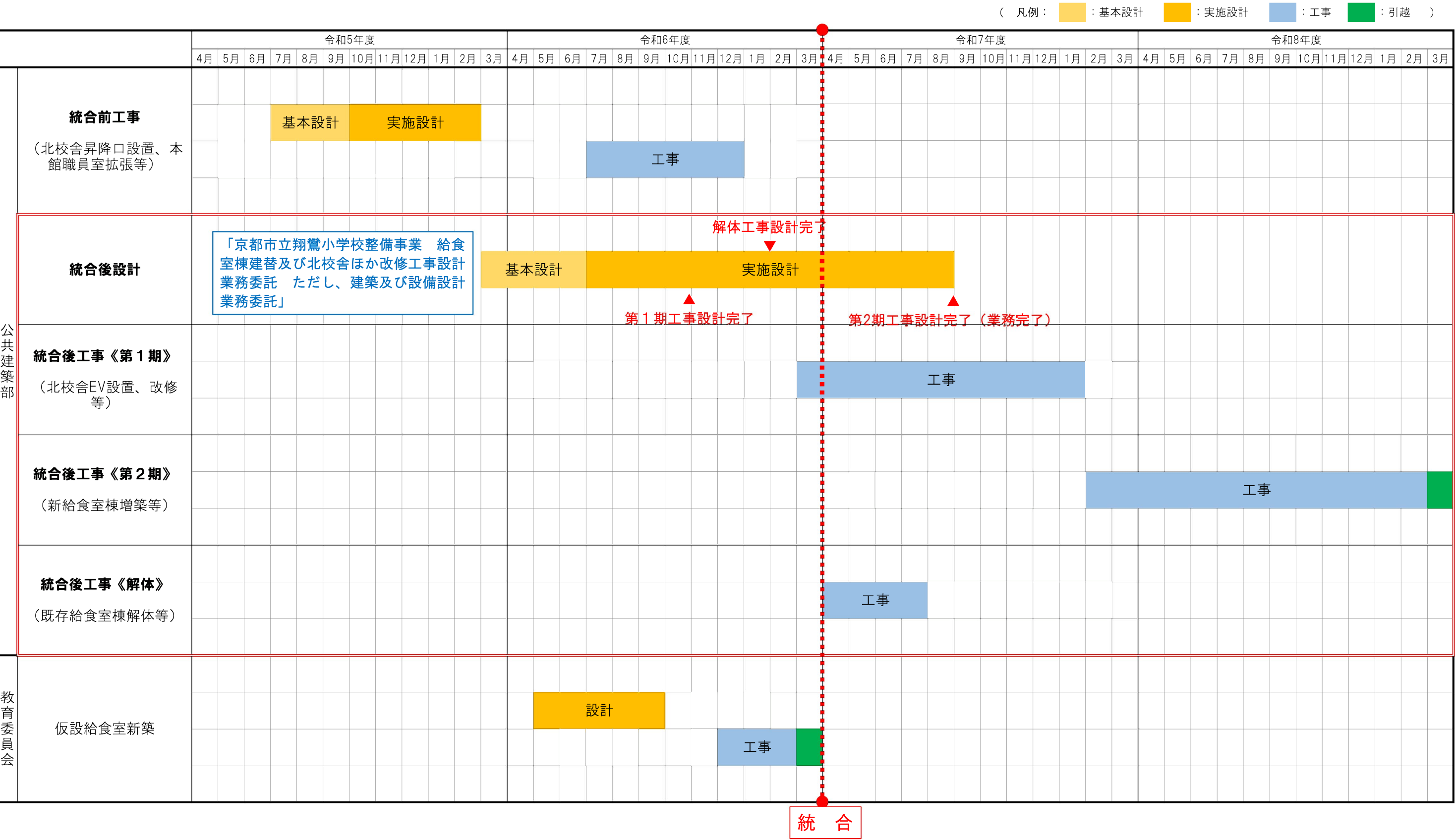
■ 既存棟内部改修の検討等

〈北校舎縦穴区画改修（西・東階段）〉



第10章 設計・工事工程

京都市立翔鸞小学校整備事業 整備スケジュール【想定】



■仮設計画（増築棟建設時）

